

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	進学一貫	情報	社会と情報	全	必修	1

講座のねらい

現代の情報社会は、膨大な量の情報があふれ、AI、VR、IOTなど、様々な技術が日々開発され、便利な世の中を作り上げています。私たちは、その中から本当に自分が必要とする情報を見抜き、主体的に活用する力を身につけ使いこなす必要があります。また、受け身ではなく、自ら有用な情報を作り出し、情報社会に積極的に発信していく態度が求められます。したがって、情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報および情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力を身に付けてもらいます。また、今、世界でどんなサイバー犯罪が起きているのか・・・など、教科書にはない最新事情なども授業で扱います。

使用教材及び問題集

教科書『最新 社会と情報』（実教出版）
 問題集『最新 社会と情報 学習ノート』（実教出版）
 副教材『30時間でマスター Office2013（実教出版）』

授業の内容と進め方

授業の持ち物：教科書・学習ノート・30時間でマスターOffice2013・筆記用具

パソコン教室で、座学（講義）と実習活動を並行して進めます。
 コンピュータを活用した作品作りをする際は、毎回、個人フォルダに保存してください。提出作品は、提出用フォルダを準備しますので、そこにコピーしてください。
 コンピュータに対する知識・技術には個人差があります。隣同士で教え合いながら、クラス全体のレベルを上げていきましょう。周囲を驚かせるような作品を期待しています。

講座の到達目標

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、どうあるべきかが考えられるようになる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現する。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

評価の観点・テスト・課題など

テ ス ト：学期末に定期考査を行います。
 その学期に取り組んだ座学の内容、実技の内容を中心に出题します。
 評価の観点：考査結果、作業に取り組む姿勢や作品の内容、提出物、実技試験、授業態度などを総合的に評価します。
 課 題：基本的には授業中に作品制作を行います。時間の制約・個人差がありますので、時として昼休みに行うこともあります。期限を守ることは徹底しますが、完成できない場合は事前に相談に来てください。

備考

単にコンピュータの技術・知識を身につけるだけでなく、情報を発信する力を身につけること、期限を守ることを意識してください。
 欠席者に対しては、フォローアップを行いますので、相談にきてください。
 （公欠・出席停止・忌引きなども同じです。）

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

第1章 情報社会とわたしたち

- 1 節. 情報社会
- 2 節. 情報社会の個人
- 3 節. 情報とメディア

2 学期 学習計画および学習内容

第2章 情報機器とデジタル表現

- 1 節. デジタルと情報機器
- 2 節. デジタル表現

3 学期 学習計画および学習内容

第3章 表現と伝達

- 1 節. 表現の工夫
- 2 節. 表計算ソフトの利用
- 3 節. プレゼンテーション
- 4 節. W e b ページの利用